

# 検査情報月報10月号 ▶ 概要版 ◀



▶ 横浜市衛生研究所では、所内で実施した試験検査などの結果に解説を加えて、検査情報月報を発行しています。



2023年10月発行

## 医動物・種類同定検査結果（令和5年7月～9月）

▶ 人の健康を害し、人に不快感を与える昆虫、ダニ、寄生虫等の試験・調査・研究を行っています。昆虫類の種類を同定することによって、発生源、発生時期、人に対する害などが分かると、効果的な対策を立てることにつながります。

**主な結果** ▶ その他の節足動物4件(クモ目4件)、その他1件(クモ目の卵のう)でした。

## 夏期食品収去検査結果（令和5年度）

▶ 夏期食品等一斉点検は、厚生労働省の通知に基づき、夏期に多発する食中毒等食品による事故防止と食品衛生の確保を目的に全国一斉に実施されるものです。横浜市においても令和5年6月1日から8月31日までを重点監視期間と定め、一斉点検を行いました。

**主な結果** ▶ **食品添加物検査** 菓子類、野菜類・果実及びその加工品、清涼飲料水等の食品134検体（輸入品105検体、国産品29検体）について、保存料、着色料、甘味料など2,743項目の検査を実施しました。**着色料の表示があったが、検査では不検出となった食品が2検体**ありました。これらについては、福祉保健センターが輸入者等を所管する自治体に調査を依頼しています。

▶ **細菌検査** 魚介類9検体、冷凍食品17検体、肉卵類及びその加工品1検体、乳製品2検体、清涼飲料水21検体、その他の食品・ふきとり53検体の計103検体221項目について検査を実施しました。その結果、**規格基準違反はありません**でした。

## 遺伝子組換え食品の検査結果（令和5年度）

▶ 遺伝子組換え食品は、内閣府にある食品安全委員会で安全性に問題ないと判断され承認された後、国内での製造・輸入・販売等が可能になります。横浜市では平成13年度から、安全性が未承認の遺伝子組換え食品が市内に流通していないか、また、適正な表示が行われているかを検査し確認しています。

**主な結果** ▶ **安全性未承認の遺伝子組換え食品の定性検査**として、トウモロコシ加工品16検体を検査した結果、14検体で不検出、2検体で検知不能となり、**違反検体はありません**でした。同じく、コメ加工品10検体を検査した結果、いずれの検体からも検出されず、**違反検体はありません**でした。

▶ **安全性承認済みの遺伝子組換え食品の定量検査**として、ダイズ穀粒4検体を検査した結果、**違反検体はありません**でした。